

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



佐藤慎太郎

(福島/78期)

白のグランプリユニフォームを着て走る姿を地元のお客さんに見てもらえるのはうれしいですね。地元記念はその時代、時代の選手が走っているから、俺が走っている回数は少ないけど、今年は俺の時代が来てる感じがするし頑張ります。

高橋晋也

(福島/115期)

初めての記念が地元ですね。北日本ラインを引っ張っていった優勝したいです。松井（宏佑）さんが記念の優勝をして活躍してるのは刺激になってます。地元開催は今まで2回走っているけど、温かく受け入れてもらえるので不安がなく臨めます。



坂本 貴史 (青森/94期)

12月防府では2日間番手に飛び付くなど、淡白なイメージを払拭しようとしている。年末から好調で、北勢にとって不可欠な戦力だ。



芦澤 辰弘 (茨城/95期)

昨年中盤に成績を落とした時期もあったが、スランプを脱し鋭いキメ脚が戻ってきた。茨栃の目標も多く、活躍の条件はそろっている。



谷口 遼平 (三重/103期)

オールS級の12月立川ではシリーズ2勝を挙げた。今回はダービーの選考期間最後のレース。高いモチベーションでG1出場を確定させる。

S級ブロックセブン

1/26 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

1班に昇格した北日本期待の新鋭・藤根俊貴が主役の座を全うできるか注目の一戦だ。9月青森記念で決勝に乗ったまでは良かったが藤根だが、その後は腰痛等で大きく調子を崩した。まだ完全復活の声は聞かれないものの、思い切った先行策も多用して徐々に戻していく構え。工藤文彦、桜井雄太との3分戦なら力の違いを示して勝ち切りたい。藤根には岡光良、上野真吾が続いて本線を形成か。ただ、岡は落車欠場中で、完調での出走は難しいかも。

工藤文彦―小岩大介の西勢の逆転も十分。工藤は1月前橋の準決でも後続を千切る大逃げを打って2着に粘るなど一撃の破壊力は健在だ。先行でもまくりでも仕掛けるタイミングが適切なら、藤根を苦しめよう。

期待を集める
藤根俊貴

